

# 自立した未来へ

令和3年7月20日 キャリア教育部 発行

明日から「受験生の天王山\*」と呼ばれる夏休みが始まります。この夏休みをどのように過ごすかが、皆さんの進路選択の「運命の分かれ目」となるかもしれません。夏休みを有意義に過ごし、2学期に良いスタートを切るために、意識して欲しいことをまとめました！ \*天王山…勝負・運命の分かれ目のこと



## 1 卒業年次以外の皆さんへ



### ☑ここまでの学習を振り返り、完璧になるまで復習しよう

☞この機会にまとまった学習時間を確保し、わからない部分の解消に取り組みましょう。

### ☑資格の取得、文化祭準備、ボランティア活動など、何かに一生懸命取り組もう！

☞昨年度から学力の三要素を問う新入試が始まり(詳しくは下を参照)、大学一般入試も含めた全ての入試形態で、高校時代に何を頑張ったかという主体性が問われるようになりました。緊急事態宣言下で思うように活動できない部分もありますが、できる範囲で様々な体験をして、「これを頑張った！」と言える何かを得られるようにしましょう。

### ☑オープンキャンパスに参加するなど、自分の進路について考えを深めよう

☞進路選択はまだまだ先、と思っている人は要注意！2学期には履修登録が控えており、自分の進路に必要な科目を明確化しておく必要があります。今のうちにオープンキャンパスに参加するなどして、自分の進路選択や受験方法について考えを深めておきましょう。基本的な入試形態について解説しておきますので、参考にしてください。

昨年度から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の学力の三要素を評価する新入試が始まり、一般選抜で主体性が評価されたり、総合型や学校推薦型で学力が問われたりするようになりました。

(2019年度まで)AO入試▶ **総合型選抜** (専門学校など「AO入試」の名称が残っている学校もあり)

学校の求める学生像と受験者が一致しているかどうかを重視する入試形態。数回の面接や面談を実施して、それにより出願を許可された者のみが受験できる形態が一般的。筆記テスト、口頭試問、共通テストなど学力的要素が問われる試験もある。

【流れの例】エントリー→面談・面接→出願許可→受験(面接・小論文・学力試験など)→合否

(2019年度まで)推薦入試▶ **学校推薦型選抜**

学校長の推薦を必要とする入試形態。稲ヶ丘高校で定められた推薦の基準(進路の手引 P28)をクリアし、校内推薦に選ばれることがまず必要となる。校内推薦が決定したら必ず受験し、合格したら必ず入学しなければならない。大学が稲ヶ丘高校を指定して合格枠を設けている指定校と、稲ヶ丘高校専用の枠がない公募の2種類がある。志望理由書や面接の他、筆記テスト、口頭試問、共通テストなど学力的要素が問われる試験もある。学校によっては共通テスト受験を必須とする動きもある。

【流れの例】校内推薦申込→校内推薦決定→出願→受験(面接・小論文・学力試験など)→合否

(2019年度まで)一般入試▶ **一般型選抜**

学力検査が中心となる入試形態。私立大学では文系学部だと国語・英語・社会、理系だと数学・英語・理科などの3科目受験が一般的だが、大学入学共通テストを利用したものや、英検などの外部試験を利用するものなど、さまざまな科目形態が増えている。国立大学は大学入学共通テスト→大学独自の二次試験という2段階選抜となる。学力重視ではあるが、それだけでなく調査書、志願者が記載する資料(志望理由書等)を積極的に活用し、主体性を評価している。

【流れの例】大学入学共通テスト申込→大学入学共通テスト受験→点数をもとに志望校検討→出願→受験→合否

## 2 卒業年次の皆さんへ

### ①進路を決定し、今後の入試・就職活動のスケジュールを明確化しよう

☞出願書類をいつ作成するのか、いつ誰に何回添削をしてもらうのか、面接練習はどのように進めるのか、証明書は何をいつまでに発行してもらうのか…などなど、進路活動はやること、考えることが山ほどあります。その全てを洗い出し、いつどのような流れで行うのかというスケジュールを明確化しましょう。

### ②受験や就職活動に必要な書類提出の確認・準備をしよう

☞例えば総合型選抜の場合はエントリーの際に「総合型選抜入試エントリー申請書」(資料エ)の提出が必要だったり、学校推薦型選抜の場合は応募前にあらかじめ「学校説明会 参加報告書」(資料オ)の提出が必要だったり、校内で出願の際に必要な書類提出があります。うっかり忘れて推薦に応募できない! などということがないように、余裕をもって確認・準備をしておきましょう。

### ③入試形態に応じて対策(出願書類作成、作文、面接練習、受験勉強など)に全力で取り組もう

☞事前に立てた夏休みの計画に従って、受験対策に全力で取り組みましょう。しかし、なかなか計画通りにいかないこともあります。迷走して夏休みを無駄にしてしまった…などという事態にならないよう、『大学入試 蛭雪時代』2021年7月号の「失敗から学ぶ成功の極意」という特集から「計画倒れのパターン」をいくつかご紹介します。

#### 計画倒れパターン1 急に難しいことをやりたがる



気合を入れた結果、基礎が固まってないのに急に難しいことをやりたがる人がいます。しかし、基礎固め→応用・演習という踏むべきステップを無視するのは危険です。受験勉強は持久走であり、ペースを考えずに走ったり、タイミングを無視してスパートをかけたりすると息切れしてしまうのです。大切なのはいつまでに終わらせるか。「模試までにこの科目はここまで進める」など、気合が入っている時ほど冷静に逆算して戦略を立てましょう。

#### 計画倒れパターン2 詰め込みすぎる



「単語帳を1日100ページ」「問題集を1日1冊」など、詰め込みすぎの計画を立てると、すぐ計画倒れになって気持ちが萎えてしまい、勉強に勢いがつきません。1日単位ではなく週単位で柔軟な計画を立て、週末に学習の進み具合を点検して細かな修正を加えるのがオススメです。「計画通りにこのページまでいけた」「この分野が仕上がった」という達成感をモチベーションにしていきましょう。

#### 計画倒れパターン3 集中できない



勉強を始めてすぐスマホを触り、少し経つと「録画予約忘れてた」と机を離れ、少し経つと「ご飯だよ」と呼ばれ…というように、いつまで経っても集中できないでいると、集中力を高めていくまでのキツイ部分ばかりを繰り返す「地獄のリターン運動」に陥ってしまいます。集中力を妨げるものはシャットアウトし、周囲の眼がある場所で勉強するなど、じっくり腰を据えて勉強できるように環境を整えましょう。

## 3 夏休み明けの予定

9月は文化祭という一大イベントがありますが、進路に向けての重要イベントも沢山あります。しっかり準備しておきましょう。

■第2回大学入学共通テスト説明会	9月2日(木)
■推薦選考第1期 応募受付期間	9月6日(月)～9月16日(木)
■第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試	9月18日(土)

※6/17に配布した説明会資料に「9月16日(金)」と記載してありますが「9月16日(木)」の誤りでした。失礼しました。